介護福祉学科　カリキュラムマップ

アドミッションポリシー（AP）

1. 本学園の建学の精神と「well-being」の追求に賛同する人
2. 「ありがとう」の言葉を大切に人と向き合い社会貢献していきたいと考える人
3. 医療・福祉への強い関心と資格取得への意欲と覚悟を持ちコミュニケーション能力を高めようと努力できる人
4. 目の前の人に寄り添う「いちばんの存在」に向かって努力ができる人
5. 「地域」の中で「何ができるか」を「じぶんごと」として考えることができる介護福祉士をめざす人

ディプロマ・ポリシー（DP）

福祉・医療の基礎知識および一般社会教育を身に付ける。
精神的、社会的、人間関係的なものを含む生活全体を支えられる人材を目指し、深い人間理解・生命の尊厳・幅広い社会性を身に付ける。

介護福祉に必要な倫理・専門知識・技術を、実際に施設や地域の現場で活用し、総合的に利用者の日常生活援助ができる能力を身に付け、さらに自己の介護福祉観を考えることができる。

・介護福祉士取得（卒業時）
・目の前の人に寄り添う一番の存在になる
・心身の状況に応じた介護や指導ができる

カリキュラム・ポリシー（CP）

1. 福祉の理念を理解し、福祉の係及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
2. 人間関係の形成やチームで働く力を養うためのコミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
3. 対象者の生活を地域の中で支えていくために、地域社会から生活を支援していくための基礎的な知識を身につける。
4. 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。
5. 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

区分：人間と社会

指定科目	第1学年 前期	第1学年 後期	第2学年 前期	第2学年 後期
人間の理解	人間の尊厳と自立			人間関係とコミュニケーション（応用マネジメント）
	人間関係とコミュニケーション（基礎）			
社会の理解	社会の理解			
選択科目	実践手話技能			
	介護キャリアデザイン			
	介護福祉ワークスキル（選択）			
	多文化共生（選択）			

卒業時取得資格
※は受験必要

- ※福祉住環境コーディネーター
- ※手話技能検定合格

目指す介護福祉士像

1. 尊厳を支えるケアを実践する
2. 専門職として自立的に介護 過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的な支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した 支援ができる
5. QOL（生活の質）の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活 を支えることができる
7. 関連領域の基本的なことを理 解し、多職種協働によるチームケアを実践する
8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
10. 介護職の中で中核的な役割を担う高い倫理性の保持ができる

認定介護福祉士

公益社団法人 日本介護福祉士会入会（各都道府県介護福祉士会同時入会）

介護福祉士実習指導者講習会

介護

1. 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。
2. 介護を実践する対象、場にとらわず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を 習得する。
3. 本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な 知識・技術を習得する。
4. 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開 できる能力を養う。
5. 介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。
6. 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。

介護の基本	介護の基本Ⅰ／介護の基本Ⅲ → 介護の基本Ⅱ
コミュニケーション技術	コミュニケーション技術
生活支援技術	生活支援技術Ⅰ／生活支援技術Ⅱ／生活支援技術Ⅲ／生活支援技術Ⅳ → 生活支援技術Ⅳ／生活支援技術Ⅵ
介護過程	介護過程Ⅰ（基礎） → 介護過程Ⅱ（実践・応用）
介護総合演習	介護総合演習Ⅰ → 介護総合演習Ⅱ
介護実習	介護実習Ⅰ－1 → 介護実習Ⅰ－2 → 介護実習Ⅰ－3 → 介護実習Ⅱ

こころとからだのしくみ

1. 介護実践に必要な根拠となる、心身の構造や 機能及び発達段階とその課題について理解し、 対象者の生活を支援するという観点から、身体 的・心理的・社会的側面を統合的に捉えるた めの知識を身につける。
2. 認知症や障害のある人の生活を支えるという観 点から、医療職と連携し支援を行うための、心 身の機能及び関連する障害や疾病の基礎的な知識を身につける。
3. 認知症や障害のある人の心身の機能が生活に 及ぼす影響について理解し、本人と家族が地 域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的な支援について基礎的な知識 を身につける。

発達と老化の理解	発達と老化の理解
認知症の理解	認知症の理解Ⅰ（基礎） → 認知症の理解Ⅱ（専門）
障害の理解	障害の理解Ⅰ（基礎・専門A） → 障害の理解Ⅱ（専門B）
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ（一般基礎） → こころとからだのしくみⅡ（形態別基礎①）
	こころとからだのしくみⅡ（形態別基礎①）

医療的ケア

医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもと、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう必要な知識・技術を習得する。

医療的ケア	医療的ケアⅠ（基礎） → 医療的ケアⅡ（演習）

認定特定行為業務従事者の喀痰吸引等研修（実地研修受講）

認定特定行為業務従事者の喀痰吸引等研修（基本研修修了）

認定特定行為業務従事者